

Work Tool for Yonezawa Quality.

一人一人のあなたからはじめよう、 米沢品質向上運動。

いよいよ始まる米沢の未来づくり、米沢品質向上運動。

「挑戦と創造のあかし 米沢品質」というスローガンには、
10年後も活気にあふれる米沢にしていくために、
一人一人のあなたが「自ら動く挑戦と創造」の行動で、
産業、技術、サービスから、教育や住みやすさまで、
「米沢のすべての品質」を磨き上げていこうという決意をこめています。

このワークツールは、
一人一人のあなたが米沢の未来のために、
自分には何ができるかを考え、
目標を発見していくための道具です。

各ページの空欄にあなたらしい言葉を自由に書き込みながら、
愛する米沢の未来のために、
あなただけのアイデアをふくらませてください。

1 米沢のことを考える

まず、あまり難しく考えずに米沢のことを改めて考えてみよう。

▶ 自分一人で考えずに、誰かに聞いたり話し合いながら考えても良いでしょう。

「米沢のいいところ」を
挙げてみよう

自然が豊か

人がいい

歴史が

深い

観光地が

おいしい農産物

「米沢のここが問題!」と
感じることを挙げてみよう

若い人が出ていってしまう

学校が少ない

米沢牛のイメージが薄い

外の人に農産物が

届いていない

「20年後の米沢」は
どんな米沢になってほしい?

若い人が希望をもつ

新しい学校がたつとよい

自然 × テクノロジーで

新しいまちづくり

若い人も農業に興味をもつ

2 自分ができそうなこと・やってみたいこと

「自分なりにできそうなこと」「やってみたいこと」を、自由に発想してみよう。

▶ どんなに小さなことでも、また壮大なことでも、出来るだけ多くイメージしてみよう。

例：米沢の産品をもっと日常にとりいれる / 将来自分が米沢市長になる 等

移住を考えている人をホームステイさせてあげる。

田舎産物をネットで見返す。

42種イキ馬

3 米沢ブランドを自分の生み出すモノ・コトにどう活かしていくか

どのような「挑戦と創造」の行動をとり、価値を生むのか、そして、それをどんな「米沢品質」に発展させていくのかを、構想してみよう。

▶ サポートツールA・Bを使って、発想をひろげながらまとめてみよう。

何に「挑戦」し、

米沢の

若い人が「兼職」のタイミングで

外に出るという状況を

変えたい。

米沢の農家を盛り上げたい。

何を「創造」するのか

テクノロジーを掛けあわせて、

新しい農業体験を

提供する。

そこからどんな価値が生まれるのか

今までの農業では体験

できなかった。

楽しい、楽しい。

農業体験によって、農業

に興味をもつ人を増やす。

20年後の目指す姿(米沢品質)

米沢の農業が

テクノロジーを掛けあわせて

楽しい、ビジネスとして、

注目される。

若い人が農業に参加

するようになる。

「米沢品質」をつくる5つの言葉から発想を広げてみよう。

自分にできそうな「挑戦と創造」を、もっと膨らませるために、「米沢品質」をつくる5つの要素のなかでできそう、やりたいことを書き出してみよう。

「心」を継ぐ

鷹山公のなせばなるの精神を未来に受け継ぐ

「自分」から動く

身の回りの小さなことでも、自ら進んで取り組む

今までなかった、ネットでの通販を通して味を広げる。

「郷」を活かす

自然、文化、気質などの米沢らしさを活かす

全国に広がる食官山りんごの品質・味

「価値」を生む

生み出されたモノ・コトによって感動を生み出す


素晴らしいテクノロジー（ドローン？）をつかった農業体験

「外」と交わる

常に広い視野をもって外の世界と交流して学ぶ

人と話しながらもっと発想を広げてみよう

自分にできそうな「挑戦と創造」を、もっと膨らませるために、家族や仲間との話し合いの場をもってみよう。

いつ	誰と	どんな話し合いをしたか
2014.10.11	OO	

5 私の米沢品質・実行宣言

「米沢品質」の考え方のもと、米沢のため・自分のために、これから実行することを宣言してみよう。
米沢のため・自分の未来のための「米沢品質」をつくるために、これから実行することを宣言してみよう。

私は、米沢品質をつくるために、

デジタルの力を活かした新しい農業体験の提供

を実行する。

2018年 10月 11日